

当院における臨床研究(学会発表)への診療情報等の提供について(オプトアウト)

さたけこども発達クリニック(および NPO 法人ふくおか子どものこころサポート研究所)では、医療・支援の発展および診療の質向上を目的として、過去の診療記録や研修データ等を用いた臨床研究(学会発表)を行っております。

これらの研究は、過去のデータを後方視的に解析するものであり、患者様や研修受講者に新たな検査や費用等のご負担を強いるものではありません。また、データ解析の際には個人を特定できる情報をすべて削除し、匿名化を行った上で実施いたします。

国が定めた倫理指針(「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」)に基づき、対象となる方から直接同意をいただく代わりに、研究の目的や内容を公表し、いつでも参加を拒否できる機会を保障する「オプトアウト」という手続きを用いて情報公開を行っております。

各研究へのデータの利用を希望されない場合は、いつでも拒否することができます。その場合でも、今後の診療やご利用において不利益を被ることは一切ございません。

【対象となる研究一覧】

研究課題①：発達性協調運動症児における認知や遂行能力の客観的指標と観察者評価との関連 - WISC-V 知能検査、JPAN 感覚処理・行為機能検査と行動特性の分析 -

- 研究責任者：佐竹 宏之、渡邊 慈香
- 研究の目的：発達性協調運動症(DCD)のある児童の行動特性(不器用さや不注意など)の背景にある認知や遂行能力の特徴を、各種検査指標の相関から多面的に分析し、適切な評価と環境調整に役立てる。
- 対象となる方：当院を受診され、JPAN、WISC-V、AQ、ADHD-RS 等の評価を実施された患者様
- 対象期間：2022年4月～2026年5月
- 利用するデータ：診療記録(年齢、併存症)、各種心理・発達・感覚検査のスコア

研究課題②：児童精神科外来を受診する限局性学習症の児童の臨床的特徴① - 初診時の主訴の分析 -

- 研究責任者：佐竹 宏之、小川 結実
- 研究の目的：限局性学習症(LD)と診断されたケースの初診時の主訴を後方視的に分析し、学習困難以外の多様な主訴の背景に潜在する LD の特性や、併存症による日常生活への影響を検討する。
- 対象となる方：当院を受診され、STRAW-R 等の検査により限局性学習症(LD)と診断された患者様
- 対象期間：2022年4月～2026年5月
- 利用するデータ：初診時間診票の記載内容(主訴)、診療記録(年齢、診断名、不登校傾向の有無等)、STRAW-R 等の検査結果

研究課題③：母子生活支援施設職員への CARE ワークショップが子どもの行動問題に与える影響 - SESBI-R を用いた前後比較研究 -

- 研究責任者：佐竹 宏之、山下 雅子
- 研究の目的：母子生活支援施設職員を対象とした CARE(支援者向けワークショップ)の受講前後における子どもの行動問題の変化を解析し、本プログラムが支援者の関わり方や子どもの行動に与える有効性を検証する。
- 対象となる方：当院および NPO ふくおか子どものこころサポート研究所が実施した「支援者向け CARE ワークショップ」を受講された施設職員の皆様、および評価対象となった児童
- 対象期間：2025年1月～2025年2月
- 利用するデータ：ワークショップ前後に実施した SESBI-R のスコア、児童の基本属性(年齢、性別)

【研究へのデータ利用を拒否される場合・お問い合わせ窓口】

ご自身(またはお子様)のデータをこれらの研究に利用されたくない場合は、大変お手数ですが、下記のお問い合わせ窓口までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、当該データを研究対象から除外いたします。なお、研究成果が学会等で公表された後であっても、お申し出があれば可能な限り対応いたします。

さたけこども発達クリニック

連絡先(電話番号)：092-915-2250

担当者：佐竹 宏之